

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

住友化学株式会社（証券コード: 4005）

【据置】

長期発行体格付	A +
格付の見通し	安定的
債券格付	A +
債券格付（期限付劣後債）	A -
発行登録債予備格付	A +
国内CP格付	J - 1

■格付事由

- (1) 総合化学大手。有機合成技術を基盤とし、農薬やディスプレイ材料、半導体材料など、競争優位性の高い事業を多数展開する。25/3 期にかけて実施した短期集中業績改善策で、ベストオーナー視点に基づく事業売却や資産効率化などを遂行。これにより、事業ポートフォリオとバランスシートの改善を進めた。新中期経営計画（26/3 期～28/3 期）では、アグロ&ライフソリューション、ICT&モビリティソリューションを成長ドライバーとして強化を図る一方、エッセンシャル&グリーンマテリアルズ、住友ファーマは構造改革を継続し、事業体質の強靱化を図る計画となっている。
- (2) 業績は安定感を取り戻してきた。住友ファーマは徹底した合理化や北米基幹 3 製品の出荷増加で採算が改善。エッセンシャル&グリーンマテリアルズはまだ赤字が残るが、ペトロ・ラービグ社の再建策や国内石化事業の再編などが進展しており、業績改善に向けた道筋はクリアになってきている。また、成長ドライバーである 2 セグメントの主力製品の競争力に特段の変化はない。事業環境の先行き不透明感は強いが、事業ポートフォリオの高度化の取り組みなども背景に、業績は当面、回復軌道を維持できると JCR では想定している。財務構成も改善に転じており、中期的にそうした方向性が維持される可能性が高い。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- (3) 25/3 期はコア営業利益 1,405 億円（24/3 期は 1,490 億円の損失）、最終利益 386 億円（同 3,118 億円の損失）と、大幅な回復を果たした。26/3 期会社計画ではコア営業利益 1,500 億円を予想。ICT&モビリティソリューションは前期の前倒し出荷の反動などで減益となるが、アグロ&ライフソリューションは海外農薬の出荷増加で安定した利益貢献を、また、住友ファーマはアジア事業譲渡による収益もあり増益を予想する。エッセンシャル&グリーンマテリアルズも持分法投資損益の改善などで赤字幅が縮小する見込み。前期に続き事業売却益が計上されるが、実質的にも業績改善が進むと考えられる。
- (4) 25/3 期末のネット DER（自己資本ベース、劣後債の資本性考慮）は 0.9 倍（24/3 期末 1.1 倍）と、おおむね健全な水準となっている。有利子負債（劣後債の資本性は考慮せず、以下同じ）は 24/3 期末で 1.5 兆円台となっていたが、短期集中業績改善策によって 25/3 期末では 2,000 億円以上圧縮された。親会社の所有者に帰属する持分はピーク時に比べ減少しているが、25/3 期末で約 9,000 億円の水準があり、相応の財務耐久力が認められる。新中期経営計画でも事業投資は営業キャッシュフローの範囲内とし、引き続き、有利子負債の削減を図る方針である。

（担当）殿村 成信・藤田 剛志

■格付対象

発行体：住友化学株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 52 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2016 年 9 月 1 日	2036 年 9 月 1 日	0.850%	A+
第 53 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2016 年 9 月 1 日	2026 年 9 月 1 日	0.300%	A+
第 55 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2017 年 9 月 13 日	2037 年 9 月 11 日	0.880%	A+
第 56 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2017 年 9 月 13 日	2027 年 9 月 13 日	0.380%	A+
第 58 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300 億円	2018 年 4 月 17 日	2038 年 4 月 16 日	0.900%	A+
第 59 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2018 年 4 月 17 日	2028 年 4 月 17 日	0.355%	A+
第 60 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150 億円	2019 年 4 月 16 日	2039 年 4 月 15 日	0.900%	A+
第 61 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2019 年 4 月 16 日	2029 年 4 月 16 日	0.400%	A+
第 62 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2020 年 10 月 22 日	2040 年 10 月 22 日	0.780%	A+
第 63 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2020 年 10 月 22 日	2030 年 10 月 22 日	0.360%	A+
第 65 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150 億円	2021 年 10 月 13 日	2041 年 10 月 11 日	0.680%	A+
第 66 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2021 年 10 月 13 日	2031 年 10 月 10 日	0.280%	A+
第 67 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2023 年 7 月 12 日	2033 年 7 月 12 日	0.880%	A+
第 68 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300 億円	2023 年 7 月 12 日	2026 年 7 月 10 日	0.280%	A+
第 1 回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付）	1,500 億円	2019 年 12 月 13 日	2079 年 12 月 13 日	(注 1)	A-
第 3 回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付）	1,000 億円	2024 年 9 月 12 日	2059 年 9 月 12 日	(注 2)	A-

(注 1) 発行日の翌日から 2029 年 12 月 13 日までににおいては年 1.30%。2029 年 12 月 13 日の翌日から 2049 年 12 月 13 日までににおいては 6 ヶ月ユーロ円ライボーに 1.50%を加えた値。2049 年 12 月 13 日の翌日以降においては 6 ヶ月ユーロ円ライボーに 2.20%を加えた値。

(注 2) 発行日の翌日から 2029 年 9 月 12 日までににおいては年 3.300%の固定金利。2029 年 9 月 12 日の翌日以降においては 1 年国債金利に 3.800%を加えた変動金利。

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債（優先債）	1,500 億円	2024 年 5 月 29 日から 2 年間	A+

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	2,500 億円	J-1

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2025 年 10 月 8 日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：水川 雅義
主任格付アナリスト：殿村 成信
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014 年 1 月 6 日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024 年 10 月 1 日）、「化学」（2022 年 6 月 15 日）、「ハイブリッド証券の格付について」（2012 年 9 月 10 日）として掲載している。
5. 格付関係者：
（発行体・債務者等） 住友化学株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
なお、本件劣後債につき、約定により許容される利息の支払停止が生じた場合、当該支払停止は「債務不履行」に当たらないが、JCR では債務不履行の場合と同じ「D」記号を付与することとしている。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等することは禁じられています。

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会が定める NRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル